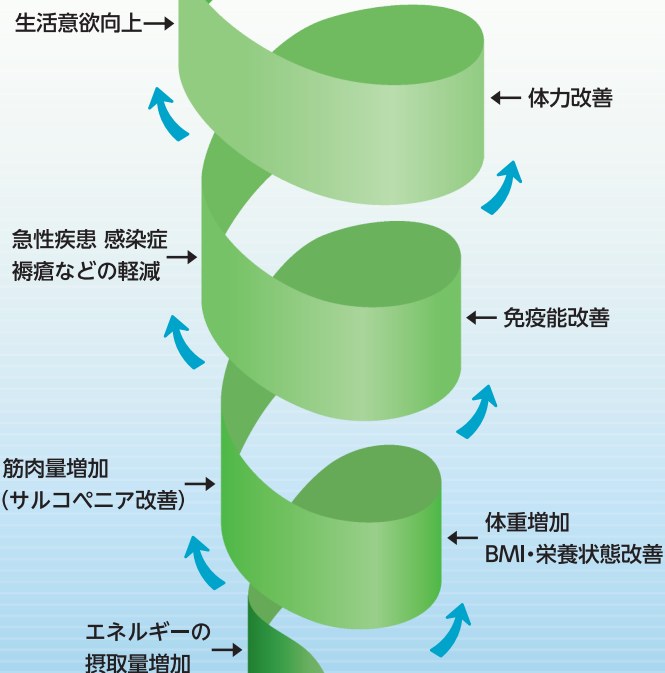


栄養 正のスパイラル

栄養ケアでいきいきと!!

自立 歩行 ADL QOLの向上
いきいきした生活



低栄養が進行すると回復に時間がかかることから、早期の栄養介入が大切です。また、介入後も栄養状態をある程度観察・評価することができれば、退院後に居宅管理となった場合でも、栄養ケアの継続が可能です。MNA®から始まる栄養ケアは、エネルギーの摂取量を増やし、栄養状態を改善します。

MNA®のチェックシートを下記URLからダウンロードできます
https://www.mna-elderly.com/forms/mini/mna_mini_japanese.pdf

MNA®

高齢者の「栄養未来予想」



ネスレ日本株式会社
ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20
<https://www.nestlehealthscience.jp/>

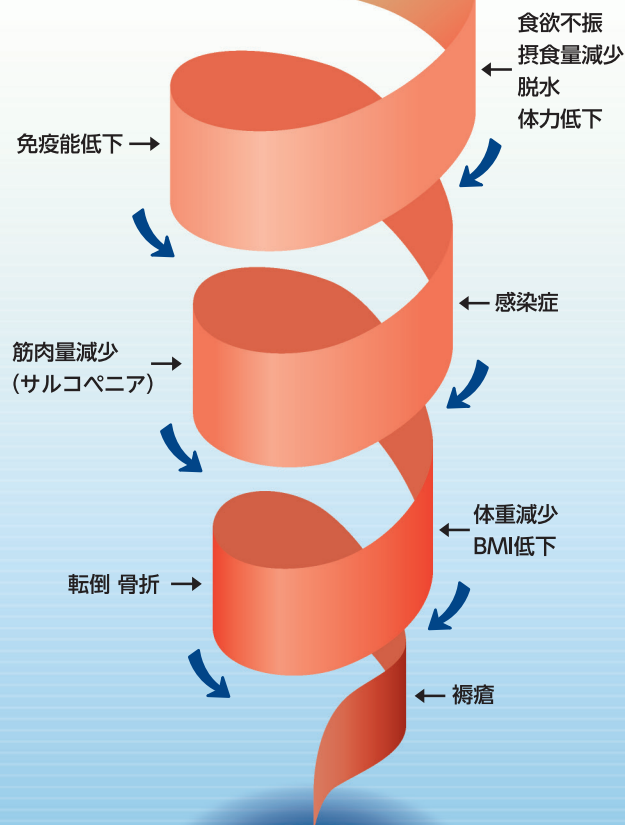
2020年11月発行
99014-04



栄養 負のスパイラル

低栄養から寝たきりへ

急性疾患 ストレス 耐糖能異常
うつ・認知症 そしゃく・嚥下障害



寝たきり

低栄養から筋肉量が減少し、ADLが低下すると転倒のリスクが増加します。また、免疫能が低下し、易感染性が高まります。一度この悪循環に陥ると、なかなかもとに戻せないことから、これを「栄養 負のスパイラル」と呼んでいます。

高齢者の栄養アセスメントツール MNA[®]

MNA[®] (Mini Nutritional Assessment) は、高齢者の栄養状態を評価する簡便かつ実用的なツールです。

1989年の国際老年医学会会議での「低栄養の高齢者が多いのに有用な栄養アセスメントツールが無い」という議論をきっかけに、1994年MNA[®]が誕生しました。以来、MNA[®]は世界中で広く用いられ、20以上の言語に翻訳されています。

現在ではより簡便な6項目からなるMNA[®]-SF (Short Form) が開発され、活用されています。

MNA[®] 特徴と利点

高齢者に適している

- ・ 認知症、寝たきりの質問が入っている
- ・ 400本を超える臨床データがある
- ・ 施設や在宅などでも使用可能

簡便で迅速

- ・ 専門的知識が不要で誰でも使用可能
- ・ 6項目の質問で4分以内で完了

継続的な栄養状態をサポート

- ・ ポイント制で経時的なアセスメント可能
- ・ At riskの抽出による早期栄養介入ができる
- ・ スコア別栄養ケアに直結し、栄養改善が期待できる

MNA[®] スコア別栄養ケア

